

WordPressのリモートとローカルの同期

WordPress開発環境を本番と同期する方法、まとめ。

<http://www-creators.com/archives/494>

前準備

- WordPressの [Migrate DBプラグイン](#) をインストール
- SiteGuardプラグインを使っている場合は、ログインページ変更をOFFにしておいたほうが無難（ログインページのURLがわからなくなる。htaccessを見ればわかるが）。

データベースのエクスポート

ツール→Migrate DB

FindとReplaceに、

`[/site.url.jp/wordpress]`→`[/localhost/wordpress]`

`[/home/web/wordpress]`→`[C:\xampp\htdocs\wordpress]`

Save Migration Profileにチェックを付け、Create New Profileでプロフィール名を記入しておけば、上記の設定が保存される。

Export&Saveを押す。 エクスポートが終わると.gzのファイルをダウンロードするように促されるので、保存する。

LFTPで転送する

```
lftp -e "set ftp:ssl-allow false; mirror --delete --verbose --parallel=3 /wordpress /cygdrive/c/xampp/htdocs/wordpress; bye" ftp.server.jp
```

- 速度を稼ぐためにFTPSではなくFTPを指定 `set ftp:ssl-allow false`
- リモートの /wordpress フォルダを、XAMPPの htdocs/wordpress フォルダに同期
- リモートにないファイルはローカルから削除 `-delete`
- 並列ダウンロード指定 `-parallel=3`

ダウンロードしたデータベースファイルのインポート

1. XAMPPのMySQLのAdminボタンを押す。
2. phpMyAdminにログインする（ユーザー名とパスワードはXAMPPインストール時に指定したもの）。
3. データベースを選択（あるいは新規作成する）。
4. 「インポート」を選択。
5. アップロードファイルにさきほどダウンロードしたファイルを指定し、「実行」

wp-config.php を編集

htdocs/wordpress にある wp-config.php を編集する。

```
// ** MySQL 設定 - この情報はホスティング先から入手してください。 ** //  
/** WordPress のためのデータベース名 */  
define('DB_NAME', 'name_of_database');  
/** MySQL データベースのユーザー名 */  
define('DB_USER', 'username');  
/** MySQL データベースのパスワード */  
define('DB_PASSWORD', 'password');  
/** MySQL のホスト名 */  
define('DB_HOST', 'localhost');  
/** データベースのテーブルを作成する際のデータベースの文字セット */  
define('DB_CHARSET', 'utf8');  
...  
/**  
* WordPress データベーステーブルの接頭辞  
*  
* それぞれにユニーク (一意) な接頭辞を与えることで一つのデータベースに複数の WordPress を  
* インストールすることができます。半角英数字と下線のみを使用してください。  
*/  
$table_prefix = 'wp_prefex_';
```

.htaccessを書き換える

```
# BEGIN WordPress  
<IfModule mod_rewrite.c>  
RewriteEngine On  
RewriteBase /wordpress/  
RewriteRule ^index\.php$ - [L]  
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f  
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d  
RewriteRule . /wordpress/index.php [L]  
</IfModule>
```

RewriteBaseと最後のRewriteRuleの変更が必要。

ブラウザで localhost/wordpress/wp-login.php にアクセスする

キャッシュプラグインを導入している場合には、再作成が必要な場合がある

続き

ローカルでの記事編集が終わったら、ローカルのMigrate DBでデータベースのエクスポート、リモートでのインポートを行う。
画像とかアップロードした場合はそのフォルダもFTPする。

(詳述予定)。

From:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/> - らぎめも

Permanent link:

http://ragi.mokuren.ne.jp/wordpress/sync_remote_local

Last update: **2019/08/19**

